

病害虫防除技術情報第3号

平成28年 6月23日

三重県病害虫防除所

葉いもちの早期発見・早期防除に努めましょう！

1. 対象作物：イネ

2. 対象病害虫名：いもち病(葉いもち)

3. 発生状況と今後の予測

巡回調査圃場(6月第2週)では、発生圃場率0%(平成0.0%)と平成並でした。

いもち病発生予測支援システム(プラスタム)によると、6月5日に北勢地域で感染好適条件が現れ、以降、数地域で感染好適条件が現われました(表)。

昨年、初期防除未実施と考えられる圃場において、多発生状態が確認されています(図1、図2)。

1か月予報(6月16日・名古屋地方気象台発表)によると、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、気温は高くなる予想ですが、注意が必要です。

4. いもち病発生予測支援システム(プラスタム)について

気象庁のアメダスの気象データをもとに、水稻のいもち病菌の感染に好適な条件を判定するシステムです。黒丸(●)で示される感染好適日から7～10日で葉いもちが発生するとされています。

平成28年	桑名	四日市	亀山	津	上野	粥見	小俣	南伊勢	鳥羽	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	●	●	◎	◎	(5)	-	(5)	(7)	-	(6)	-	(8)	-
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	(9)	(7)
6/08	●	△	△	(6)	(8)	△	△	△	△	△	△	△	(5)
6/09	-	-	(6)	(8)	-	△	◎	△	△	◎	△	-	(8)
6/10	-	-	-	-	-	-	-	-	(9)	△	-	-	-
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	(6)	(5)	-	-	(7)	-	(5)	(5)	(5)	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/16	●	(6)	-	-	-	(6)	(7)	●	●	(6)	(9)	(8)	(8)
6/17	●	(5)	-	-	(5)	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/19	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	(6)	(8)	●	-	-	(7)	(8)	(8)	(8)	(6)	-
6/21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

- : 好適条件 (いもち病発生の好条件が全て満たされた。)
- ◎ : 準好適条件(湿潤時間の平均気温が比較的低いが湿潤時間10時間以上)
- : 準好適条件(湿潤時間の平均気温は15～25℃でないが湿潤時間10時間以上)
- ▲ : 準好適条件(前5日の平均気温は25℃以上だが湿潤時間10時間以上)
- △ : 準好適条件(前5日の平均気温は20℃未満だが湿潤時間10時間以上)
- () : 好適条件は満たされなかったが、湿潤時間が5時間以上(数値は湿潤時間)
- : 好適条件・準好適条件は満たされなかった。



図 1. 多発生圃場における発病株の状況(2015年7月8日撮影)



図 2. 多発生圃場全景(2015年7月8日撮影)

5. 防除対策

- (1) 補植用の置き苗は発生源となるので、速やかに取り除いてください。
- (2) 圃場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。
- (3) 葉いもち対象予防粒剤の散布適期です。感染好適条件の現れた7~10日後に病斑が現れます。
- (4) QoI剤(ストロビルリン系殺菌剤)を使用したにもかかわらず、ずり込み症状等の重篤な発病の場合は、病虫害防除所、農業研究所、農業改良普及センターや、関係団体へ速やかにご連絡ください。

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。